

# 朝倉市庁舎建設基本設計（概要版）

基本設計概要 平成29年4月

## 目 次

1. 基本コンセプト	01
2. 設計概要	02
3. 配置計画	03
4. 平面計画	04
5. 防災計画／環境計画	05
6. 事業計画概要	06

## 1. 基本コンセプト

あさくらを潤いのある「未来」へ、やさしく・つよく・つなぐ交流拠点

### 基本方針1 ひとにやさしい庁舎

- ① 総合案内はエントランス正面に配置し、来庁者が快適に利用できるようにします。
- ② 待合スペースは見通しのよい快適な空間とともに、個別相談時のプライバシーにも配慮したカウンターとします。
- ③ 福岡県福祉のまちづくり条例に適合する施設とし、障がいのある方、高齢の方をはじめ子ども用トイレや授乳室など子ども連れの方にも快適にご利用いただける庁舎とします。
- ④ 水平移動だけでなく垂直移動も動線に取り入れ、エレベータ2台を機能的に配置し、誰もが移動しやすい庁舎とします。

### 基本方針2 まちにやさしい庁舎

- ① エントランスには多目的スペースを設置し、市民の憩いの場として魅力ある空間とします。
- ② 敷地に面する東・南側道路面は、3m幅員の歩道を設置し、ゆとりある安全な歩行者アクセスの空間を整備します。

### 基本方針3 自然にやさしい庁舎

- ① 自然の光や風などを最大限生かし、太陽光パネルの設置や自然採光・自然換気を確保する庁舎とします。
- ② 人感センサーやLED照明など高効率照明を導入することで、電力消費を抑制する庁舎とします。

### 基本方針4 災害につよい庁舎

- ① 地震発生後においても防災拠点として、迅速な指揮・対応や行政機能を継続するため、免震構造を導入します。また、熊本地震をはじめとする想定外の地域における地震に対応するため、地域係数については、1.0を適用し、より災害につよい庁舎とします。
- ② 有事の際の資源制限下であっても災害対応等を適切に行うことができるよう内閣府が定める業務継続計画作成ガイドに則した庁舎とします。

### 基本方針5 セキュリティにつよい庁舎

- ① 免震構造となる庁舎の2階にサーバー室を設け、情報セキュリティを強化します。
- ② 夜間や休日など時間外の来庁者に対する利便性に配慮するとともに、敷地内や庁舎内の主要な動線上に防犯カメラを設置するなど、セキュリティを確保した庁舎とします。

### 基本方針6 変化につよい庁舎

- ① 執務室をはじめとする主要なスペースについては、OA機器等のレイアウトや配線の自在性が高いフロアを導入し、将来の組織見直しにも柔軟に対応できる庁舎とします。
- ② エントランスの多目的スペースは、通常時はロビーや展示場として、必要に応じ臨時的な窓口（臨時福祉給付金など）や期日前投票所とするなど、用途性の高い庁舎とします。

### 基本方針7 市民と行政をつなぐ庁舎

- ① 執務室は、来庁者にわかりやすいよう、また効率的な業務を行えるよう部門間の連携を考慮した庁舎とします。
- ② 隣接するピーポート甘木や甘木歴史資料館との連携を図り、連絡通路を設け、相互に利しやすい庁舎とします。
- ③ ピーポート甘木も庁舎として一部活用し、財政負担にも配慮した計画とします。

### 基本方針8 人と人をつなぐ庁舎

- ① エントランスは来庁者を迎える空間として、明るく開放的な計画とします。
- ② ATMは、誰もが利用がしやすいよう屋外に設け、雨天時を考慮した計画とします。
- ③ 売店は、職員だけでなく来庁者も利用しやすい計画とします。

### 基本方針9 人と自然をつなぐ庁舎

- ① 敷地内緑化のほか、新庁舎と隣接する甘木歴史資料館の庭園を連絡通路で結び、四季を感じられる庁舎とします。
- ② 朝倉の地元産木材を内装材などに利用することで、朝倉の人と自然をつなぎます。

## 2. 設計概要

### (1) 建設地概要

①所在地	福岡県朝倉市甘木216番地2の一部ほか (未分筆のため変更予定)
②敷地面積	8, 095. 33m <sup>2</sup>
③用途地域	第一種住居地域
④地域地区等	指定なし
⑤防火地域等	建築基準法第22条区域
⑥許容建ぺい率	60%
⑦許容容積率	200%
⑧前面道路	南側(市道 丁ノ坪・小原線) 東側(市道 来春・一木線) 西側(市道 岩入・娘田線)

### (2) 建築計画概要

①建築面積	2, 856. 13m <sup>2</sup>
②延床面積	8, 954. 98m <sup>2</sup>
③階数	地上5階建
④駐車台数	約80台(敷地内駐車場のみ)
⑤駐輪台数	約50台
⑥各階面積表	
R階	階段室 58. 10m <sup>2</sup>
5階	議場 1, 197. 78m <sup>2</sup>
4階	執務室 1, 197. 78m <sup>2</sup>
3階	執務室 1, 931. 81m <sup>2</sup>
2階	執務室 2, 177. 54m <sup>2</sup>
1階	窓口 2, 391. 97m <sup>2</sup>
合計	8, 954. 98m <sup>2</sup>
⑦附属棟	
2階	287. 19m <sup>2</sup>
1階	234. 99m <sup>2</sup>
合計	522. 18m <sup>2</sup>

### (3) 構造計画概要

①構造形式	地上5階建
②構造種別	基礎免震構造・鉄筋コンクリート造
③基礎構造	杭基礎
④耐震性への配慮	耐震安全性の分類 構造体Ⅰ類、建築非構造部材A類、建築設備甲類 地域係数Z = 1. 0採用 (福岡県Z = 0. 8を基準値 = 1. 0とすることで、耐震性能を強度化する)
	重要度係数1. 5以上確保 (災害応急対策活動に必要な官庁施設として、大地震動時の変形に対する耐力の割り増しを行う。IS値0. 6→0. 9)

### (5) 空調換気設備概要

①熱源設備	空冷ヒートポンプパッケージ方式
②空調設備	天井カセット形空気調和機 天井埋込形空気調和機 床置ダクト形空気調和機
③換気設備	全熱交換器 全熱交換器による1種換気(執務室等) 換気ファンによる3種換気(トイレ湯沸室等)
④排煙設備	自然排煙
⑤中央監視	デマンド監視及び空調機の集中監視制御

### (6) 給排水衛生設備概要

①上水給水設備	受水槽加圧給水方式 緊急遮断弁設置
②給湯設備	電気温水器による局所給湯方式
③衛生器具設備	節水型器具の採用
④排水通気設備	建物内汚水・雑排水分流方式
⑤消火設備	緊急排水槽設置 屋内消火栓・連結送水設備

### (7) 昇降機設備概要

①乗用	15人乗 1台
②人荷用	22人乗 1台(ストレッチャー対応)
③	
④	
⑤	

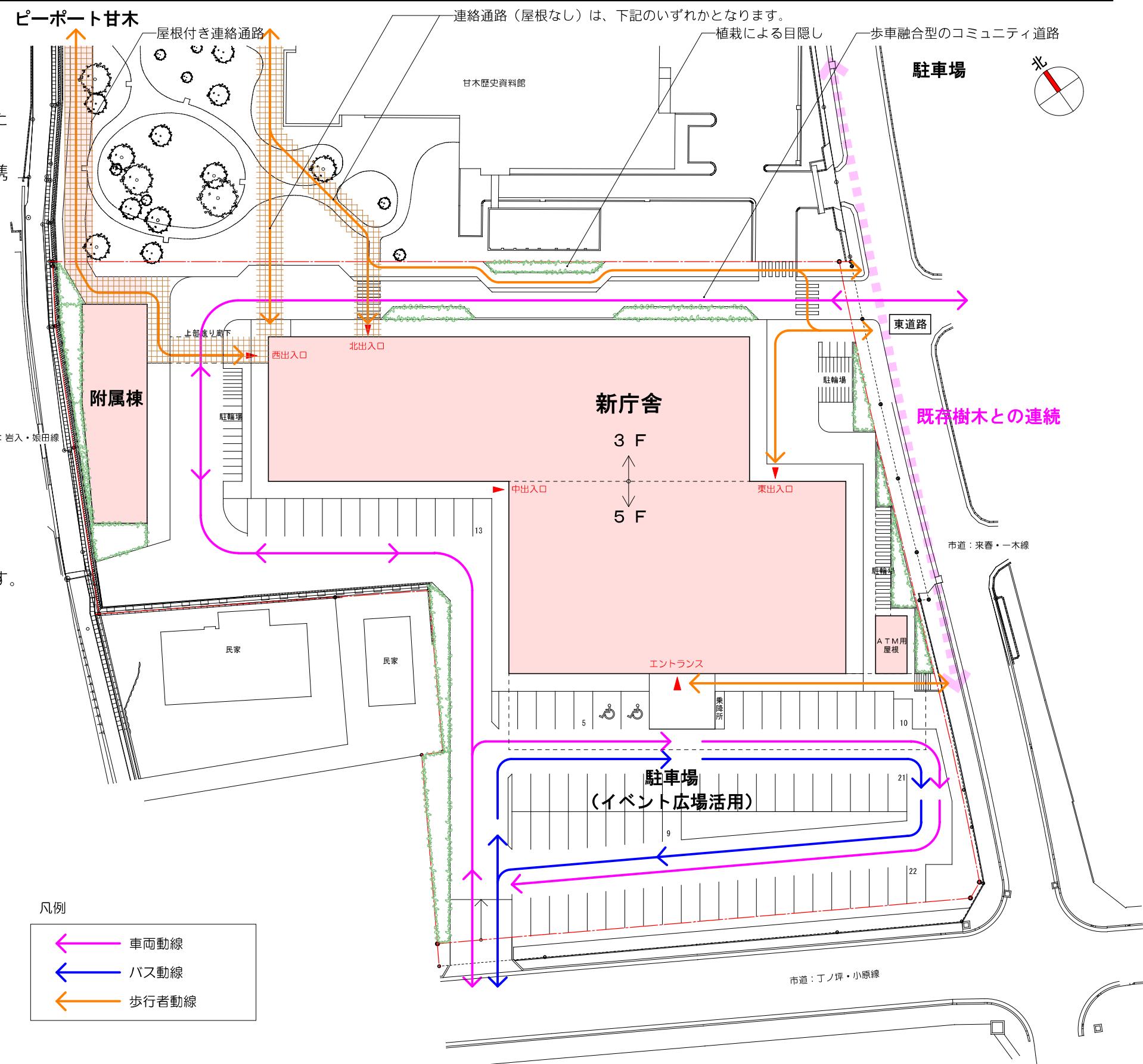
### (4) 電気設備概要

①受変電設備	高圧6. 6kV 1回線引込 (予備線用配管を行う)
②非常用発電機設備	キュービクル型受電設備 ディーゼル方式(ラジエータ冷却方式) 稼働時間: 72時間 (燃料補給により1週間程度の連続運転可能)
③太陽光発電設備	太陽光パネル 設置場所: 屋上
④幹線動力設備	電灯: 単相3線 200/100V 動力: 三相3線 200V
⑤照明設備	LED照明器具 人感センサー及び昼光制御センサー制御
⑥雷保護設備	棟上導体方式
⑦防犯設備	監視カメラ
⑧防災設備	自動火災報知設備 非常放送設備
⑨その他設備	構内情報通信網設備、構内交換設備、 情報表示設備、映像音響設備、拡声設備、 誘導支援設備、テレビ共同受信設備

### 3. 配置計画

#### (1) 配置計画

- ① 敷地南側にイベント広場などに活用可能なまとまった駐車場を計画します。
- ② 既存のピーポート甘木や歴史資料館、駐車場との連携に配慮し、各方向にも出入口を設け、どこからでもアプローチしやすい計画とします。
- ③ 建物は、低層部と高層部に分節化することで、周辺施設との調和を図ります。
- ④ 附属棟を建て、公用車の車庫と倉庫として計画します。



#### (2) 駐車場計画

- ① 駐車場は、庁舎の南側に配置することで、明確な歩車分離を行います。
- ② 低層部の南側に一部駐車場を計画することで、イベント時にも利用可能な駐車スペースを計画すると共に、隣地との十分な離隔距離を確保する計画とします。
- ③ エントランスは、障がい者用駐車場を含む部分に雨掛けを防ぐ大きな庇を設けて、大型バスも利用可能な乗り降りスペースを配置します。

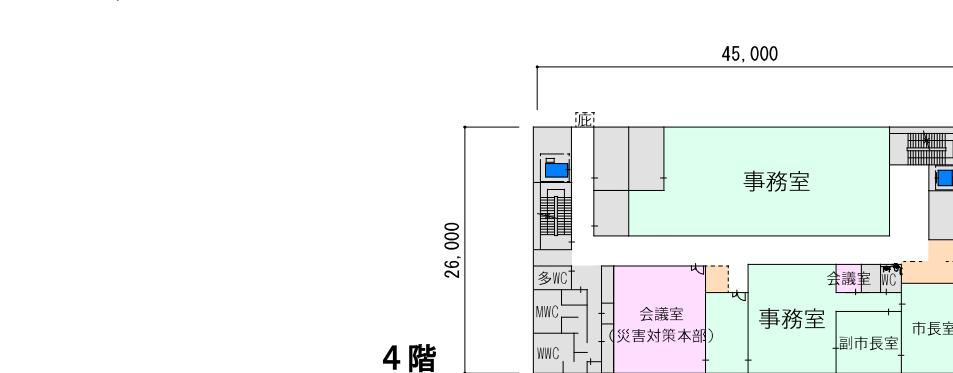
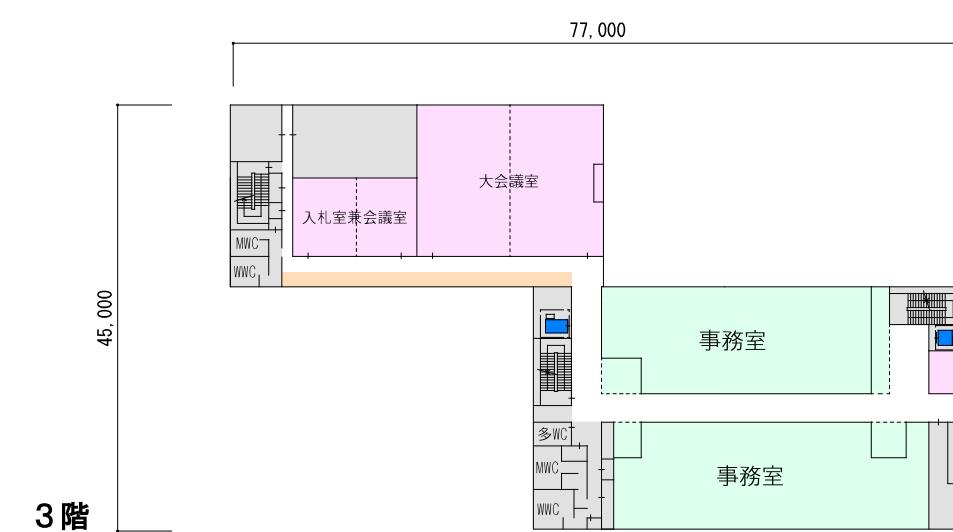
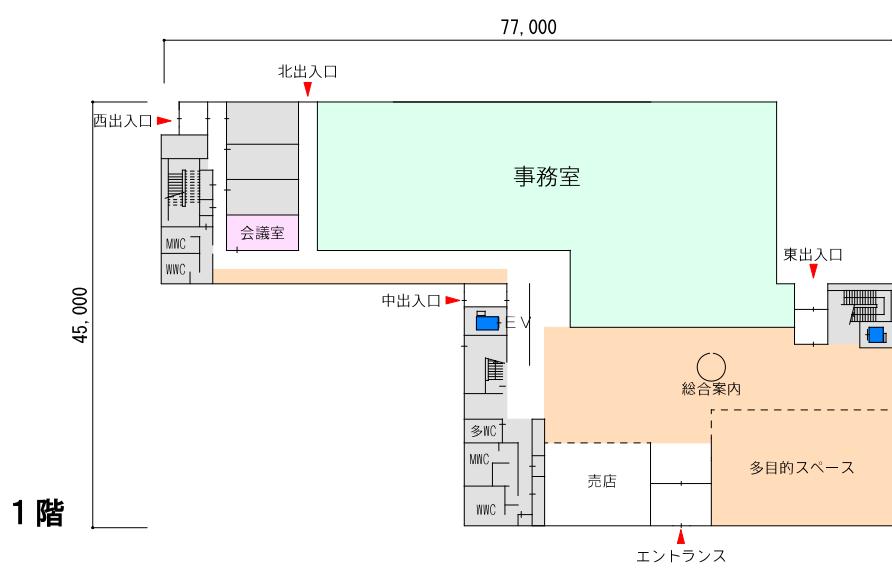
#### (3) 外構計画

- ① 敷地東側は歴史資料館の既存樹木を連続することで、敷地周辺の景観との調和を図ります。
- ② 敷地北側の通路は歴史資料館西側の庭園への散策路として整備します。蛇行した通路とすることで、歩行者にも安全な通路とします。
- ③ 敷地南側の民有地境は、生活環境に配慮するとともに、敷地周辺との調和を図ります。

#### 4. 平面計画

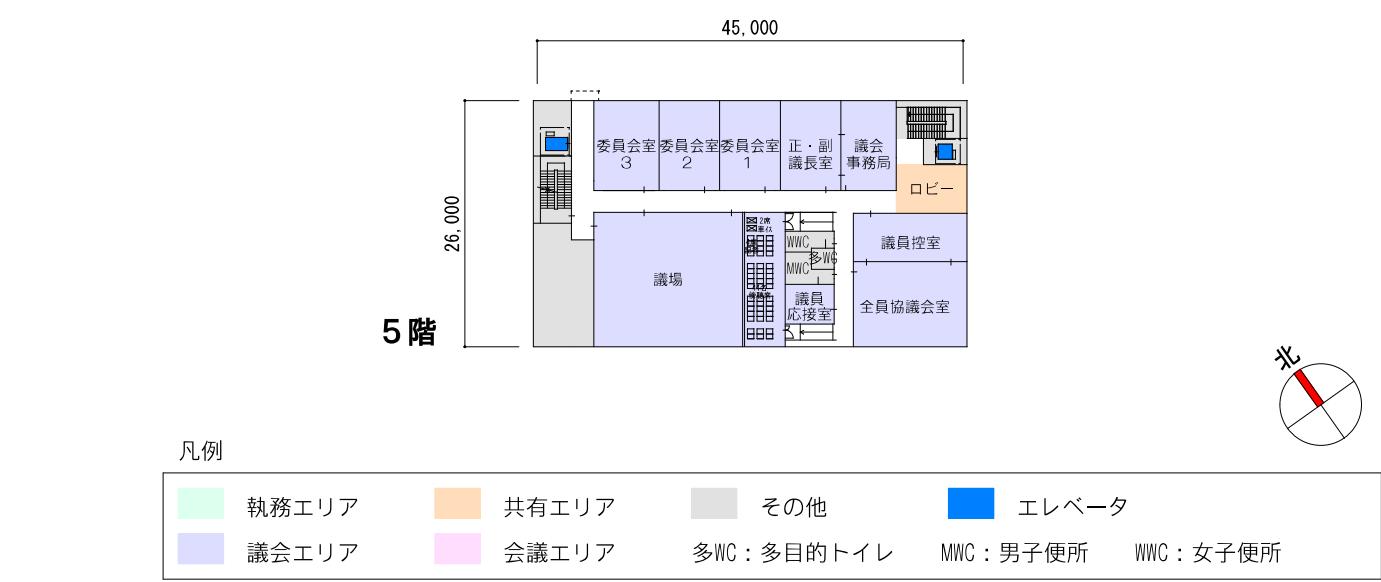
##### 1階 利用者に分かりやすく利便性が高い窓口ゾーン

- ① 来庁者出入口は、敷地内駐車場やピーポート干木、敷地外駐車場からのアクセスに配慮し設けます。
- ② エントランス正面に総合案内とワンストップ窓口を設け、また市民環境部など来庁者の多い部署を分かりやすく配置します。
- ③ 待合スペース近くにキッズコーナーを設け、お子様連れの方にも安心して来庁いただけます。
- ④ 上階への昇降は、待合スペースから見通せる位置に配置されたエレベーターと階段で行えます。



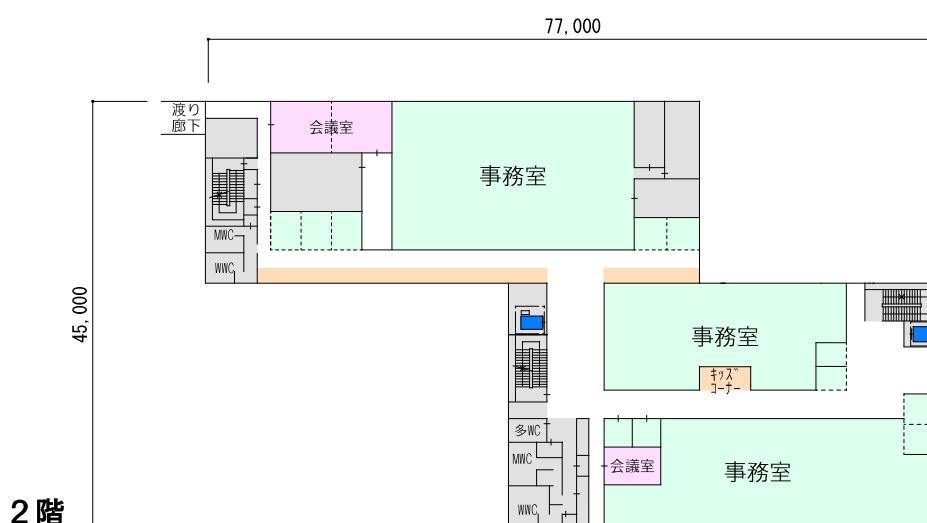
##### 5階 使いやすく独立性の高い議会エリア

- ① 議場を中心に議会関連諸室を集約することにより、独立性や機能性を高めます。



##### 2階～4階

- ① 2階に保健福祉部と農林商工部、3階に都市建設部、4階に市長室や災害対策本部機能などを含む総務部を分かりやすく配置します。



## 5. 防災計画／環境計画

### (1) 防災計画

#### ① 防災拠点

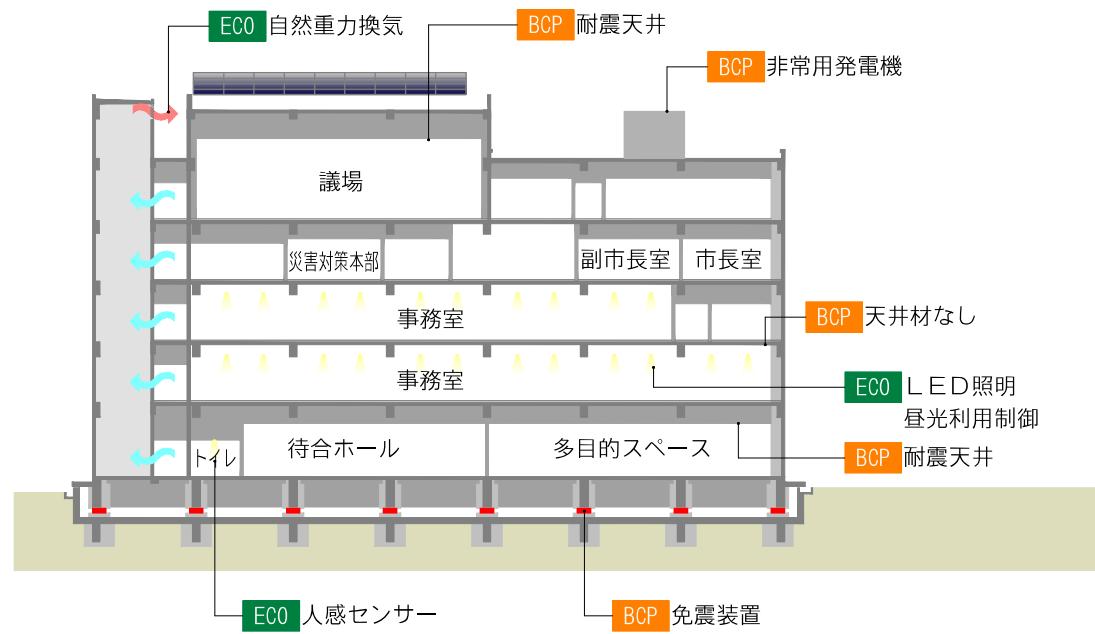
- 市の防災中枢拠点として、大地震発生後も損傷することなく、行政機能を維持できる安全な庁舎とします。

#### ② 災害対策

- 大地震時でも免震装置が揺れを吸収し、倒壊や損傷を防ぐ免震構造を採用します。
- 台風対策として、強い風や飛来物にも割れにくい強化ガラスを採用します。
- 浸水対策として、1階の床レベルは南側道路より1m程度高く設定すると共に、自家発電設備や熱源機器等の主要な機能等は屋上に設置します。
- 設備機器全般について、災害対策の指揮、情報伝達のための施設に求められる耐震安全性基準である建築設備甲類を採用します。

#### ③ 業務継続計画（BCP）

- 非常用発電設備を備え、災害時にもライフラインが断絶せず、復旧・復興拠点として機能する計画とします。
- 人命の安全確保と二次災害の防止の観点から耐震性の高い工法の導入や無天井などにより、天井崩落の危険性を回避します。
- 窓ガラスなどの非構造部材の耐震化や、机・棚といった什器備品についても固定するなど万全な対策を講じます。
- 受水槽には緊急遮断弁を設置し漏水を抑え、排水は緊急排水槽を設置することで外部インフラ断絶時においても最低限の機能維持を行える計画とします。
- 災害対策本部の電源は非常用発電機回路とし、電源の複数確保を行うことで機能停止リスクに備えます。



### (2) 環境計画

#### ① 热負荷の抑制

- 断熱性の高いガラスを採用することで空調負荷の低減を図ります。
- 換気にCO<sub>2</sub>制御を導入し不要な外気の取入れを抑制することで外気負荷の低減を行います。

#### ② 自然光・自然通風の確保

- 自然光を活かし直射日光を制御した室内環境に配慮します。
- 自然換気を最大限活用するため、自然換気ユニットを採用します。

#### ③ 効果的な自然エネルギー利用

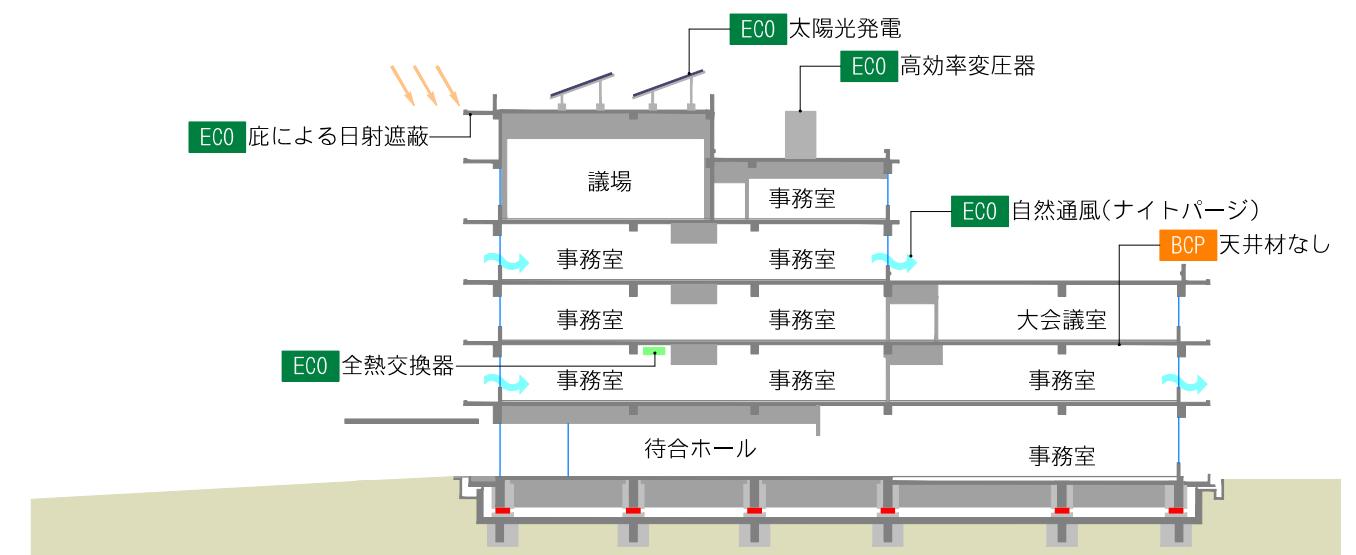
- 夏季や中間期はナイトパージを行い、日中建物内に蓄積された熱を夜間、早期の冷えた外気を導入することで外部に解放し翌日の冷房負荷の低減を行います。
- 太陽光発電パネルを設置し、発電された電力は庁舎内電力として利用します。
- 電力削減に寄与する高効率変圧器やLED照明器具を採用します。
- 昼光利用照明制御により、適切な照度を保つと共に照明電力を削減します。
- 駐車場の外灯は、一般外灯以外に太陽光パネル付外灯を設置し照明電力を削減します。

#### ④ エネルギー利用効率を高める工夫

- エネルギー消費量や機器運転時間などのモニタリングシステムを採用し、PDC Aによる運用改善が可能な計画とします。

#### ⑤ 長寿命建築の実現

- 長寿命なLED照明器具を採用すると共に、各種センサーを利用し省エネルギー化を図ります。



## 6. 事業計画概要

### (1) 全体概算事業費

費目	金額（百万円）	内容
建築工事費	4,221	新庁舎・附属棟
造成工事費	136	敷地造成
外構工事費	257	連絡通路、舗装、外構、植栽、駐輪場
用地購入費	636	民有地、県有地購入
その他	537	各種調査、備品、移転費用、周辺整備等
合計	5,787	

- 上記金額には消費税を含みます。
- 今後の建設市場は、オリンピック施設計画や震災復興を要因に、資材価格や人件費の高騰により建設費が上昇することが考えられます。実施設計段階において発注時の建設単価を想定し、建設費を見直します。
- 庁舎建設に伴う道路や水路等施設の整備改修が新たに発生した場合の費用は、上記に見込んでいません。

### (2) 財源

種別	金額（百万円）
合併特例債等（充当額）	5,307
一般財源	480
合計	5,787

- 上記財源計画は、将来の財政事情により、基金や他の地方債を活用することがあります。

### (3) スケジュール

	H28	H29	H30	H31	H32
①基本・実施設計					
②新庁舎建設工事					
③新庁舎への移転					● 5月
④周辺整備等					

外観イメージ

